

分泌低下型マイボーム腺機能不全に対する Intense Pulsed Light の効果

英文タイトル

The effectiveness by IPL treatment on obstructive meibomian gland dysfunction

ショートタイトル

IPL の効果

有田玲子（LIME 研究会，伊藤医院），福岡詩麻（LIME 研究会，大宮はまだ眼科西口分院），森重直行（LIME 研究会，大島眼科病院）

**目的:** 分泌低下型マイボーム腺機能不全(oMGD)はドライアイの主因であり患者数も多い。oMGD は治療抵抗性の症例も多く，新しい治療法が望まれている。Intense Pulse Light (IPL) は幅広い波長のキセノン光を短時間に照射する機器で，近年，ドライアイ特に oMGD に対する有効性が報告されている。今回私たちは，oMGD 患者に対し IPL を施術し，安全性と効果を検討した。

**対象と方法:** 対象は oMGD 患者 9 名 18 眼 (45.6±13.8 歳，男 5 : 女 4)。IPL 照射機器 (M22®) を用いた IPL 照射を 3 週毎 4 回施行した。評価項目は自覚症状スコア (SPEED)，油層厚 (LipiView®)，眼瞼縁所見，涙液層破壊時間 (BUT)，非侵襲的 BUT (NIBUT, DR-1α)，角結膜上皮障害スコア，マイバムグレード，マイボスコア (マイボグラフィー)，シルマーテスト。検査は施行前，直後，以降 3 週毎とした。

**結果:** 施術直後に軽度の灼熱感や発赤を認めた患者が 3 名いたが，いずれも翌日には改善していた。自覚症状スコア，眼瞼縁所見，BUT，マイバムグレードは施行前と比べ有意に改善した (各  $P<0.001$ )。NIBUT，SPK スコア，マイボスコアも有意に改善した ( $P=0.01$ ， $P=0.02$ ， $P=0.02$ )。油層厚，シルマーテストは有意な変化がなかった。

**結論:** IPL 照射は oMGD 患者に対する新しい治療法のひとつとなりうる。